資料４

YELL,

スポーツ振興について

令和８年(2026年)10月30日
県民生活部文化スポーツ局
スポーツ振興課

HYOGO with SPORTS

HYOGO with SPORTS

＜スポーツの振興＞

1　生涯スポーツの振興・・・・・・・・・・・・・・・・　P.3

2　競技スポーツの振興・・・・・・・・・・・・・・・・　P.4

3　スポーツ環境の整備・・・・・・・・・・・・・・・・　P.6

＜スポーツによる地域活性化の推進＞

4　スポーツコミッションの創設･展開・・・・・・・　P.7

5　神戸マラソン2026・・・・・・・・・・・・・・・・・　P.9

6　ワールドマスターズゲームズ2027関西・・　P.11

1　生涯スポーツの振興

【兵庫県の現状】

兵庫県の20歳以上のスポーツ実施率は、47都道府県中７位であり、全国的に高い方であるが、国は実施率70%を目指しており、さらなる運動習慣の定着が必要

＜20歳以上のスポーツ実施率(※1）都道府県順位＞

順位＼年度	R４-６年度		R５-７年度	
1位	東京都	56.6%	東京都	56.4%
2位	神奈川県	54.7%	福岡県	54.9%
3位	奈良県	54.5%	石川県	54.5%
4位	福岡県	54.3%	奈良県	54.3%
5位	千葉県	54.1%	神奈川県	54.1%
6位	兵庫県	54.0%	千葉県	53.7%
7位	京都府	53.6%	兵庫県	53.6%
47位	福井県	45.0%	山形県	45.3%
全体	－	52.3%	－	52.1%

※1.30分以上の軽く汗をかく運動・スポーツを週１日以上する者の割合
※2.単年の調査結果では各都道府県における十分な標本が得られないため、３年分を合算して算出
出典：令和７年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（スポーツ庁）

（1）「スポーツクラブ21ひょうご」による地域スポーツの推進

小学校区単位で地域住民が運営する「スポーツクラブ21」（753クラブ、R8時点）を対象とした研修会や、県内7つのSC21地区連絡協議会と県民局等との連携によるスポーツイベントを開催することにより、地域スポーツの活性化を推進

・地区イベント開催数：23件（R7実績）
・地区イベント参加者数：4,497人（R7実績）


阪神地区交流フェスティバル

〔「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業　R8予算2,633千円〕

（2）生涯スポーツの振興

県内競技団体と連携し、中高年を中心に誰もが参加できる生涯スポーツ大会を開催。令和４年度からは「ワールドマスターズゲームズ2027関西」のPRのため、「関西マスターズゲームズ」という名称で、毎年、約30競技の大会を開催

このほか、毎年11月に、兵庫県生涯スポーツ連合による「県民ふれあい大会」と連携して、誰もが楽しめるスポーツイベント「ファングリラ」を開催

・関西ﾏｽﾀｰｽﾞｹﾞｰﾑｽﾞ(生涯ｽﾎﾟｰﾂ大会）開催数：32件（R7実績）
・関西ﾏｽﾀｰｽﾞｹﾞｰﾑｽﾞ(生涯ｽﾎﾟｰﾂ大会）参加者数：5,515人（R7実績）


関西マスターズゲームズ


県民ふれあい大会


ファングリラ

〔関西マスターズゲームズ in HYOGO開催事業　R8予算4,361千円〕

（3）女性のスポーツ実施の促進

女性のスポーツ環境の向上、女性のスポーツ人口の増加を目指し、女性の競技別大会や競技の枠を越えた研修会の実施に取り組む「ひょうご女性スポーツの会」の活動を支援

・ひょうご女性スポーツの会
　加盟団体数：18団体（R8.10時点）
・競技別大会開催数：16件（R7実績）
・競技別大会参加者数：2,466人（R7実績）



ひょうご女性スポーツの会競技別大会

〔ひょうご女性スポーツの会の活動支援　R8予算4,000千円〕

2　競技スポーツの振興

【兵庫県の現状】

国民スポーツ大会の直近５回における兵庫県の順位は、47都道府県中10～15位で推移している。人口の多い都道府県が上位を占める傾向があり、兵庫県の人口が７位であることを踏まえると、さらなる競技力の向上が必要

＜国民スポーツ大会男女総合成績　都道府県順位＞

開催年度	R4	R5	R6	R7	R8	参考
開催地	栃木県	鹿児島県	佐賀県	滋賀県	青森県	人口の多い順
1位	東京都	東京都	東京都	滋賀県	東京都	東京都
2位	栃木県	鹿児島県	佐賀県	東京都	神奈川県	神奈川県
3位	埼玉県	大阪府	埼玉県	京都府	大阪府	大阪府
4位	愛知県	愛知県	大阪府	大阪府	埼玉県	愛知県
5位	大阪府	埼玉県	愛知県	愛知県	青森県	埼玉県
6位	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	愛知県	千葉県
7位	千葉県	福岡県	京都府	埼玉県	京都府	兵庫県
8位	福岡県	千葉県	滋賀県	千葉県	宮崎県	北海道
9位	北海道	京都府	千葉県	福岡県	福岡県	福岡県
10位	京都府	兵庫県	岐阜県	兵庫県	岐阜県	静岡県
11位	兵庫県	佐賀県	北海道	北海道	北海道	茨城県
12位	三重県	北海道	兵庫県	岐阜県	千葉県	広島県
13位	岐阜県	岐阜県	福岡県	佐賀県	滋賀県	京都府
14位	鹿児島県	福井県	三重県	福井県	三重県	宮城県
15位	京都府	鹿児島県	岡山県	三重県	兵庫県	新潟県

※開催地枠があるため、開催地の都道府県は有利

【（公財）兵庫県スポーツ協会との連携】

競技スポーツの振興については、一部の事業を除き、（公財）兵庫県スポーツ協会に補助金（補助率10/10）を交付して事業を実施

① 競技スポーツ振興事業費補助（R8交付決定 171,550千円）
　a 推進体制整備（委員会設置）　b 指導者養成事業
　c 選手発掘・育成事業　　d スーパーアスリート事業

② 国民スポーツ大会兵庫県選手団派遣費補助（R8交付決定 73,201千円）

（1）HYOGO STAR PROJECT

平成21年度から実施の「ひょうごジュニアスポーツアカデミー」を発展的に継承し、令和７年度から新たに「HYOGO STAR PROJECT」を実施。小５～中３を対象に、身体能力の開発・育成に加え、思考力・協調性・リーダーシップなど知的能力の開発・育成にも取り組み、次代のスターアスリートを発掘・育成

年度	応募者数	選考会参加者数	受講者数（選考会合格者数）
R7	105人	79人	65人
R8	140人	112人	69人





〔県実施　R8予算7,036千円〕

（2）プロクラブ等との連携による指導者派遣

阪神タイガース、神戸ストークスなどのプロクラブや、陸上の朝原宣治氏らトップアスリートと連携し、県内各地で指導者研修を展開。地域スポーツクラブや中学校の指導者を対象に、競技技術や育成の考え方を共有し、現場の指導力を向上

年度	実施競技（実施回数）	受講指導者数
R6	ラグビー(9)、陸上(6)、剣道(4)、野球(3)、バスケ(1)	282人
R7	野球(4)、陸上(4)、サッカー(1)、テニス(1)、水泳(1)、剣道(1)	247人





〔県、スポーツ協会共同実施　R8予算1,802千円　〕

2　競技スポーツの振興

（3）スーパーアスリートへの支援

国際舞台での活躍が期待されるアスリートを重点的に支援。国内外での競技活動や遠征に必要な費用等を支援し、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう後押し。スピードスケートの長森遥南選手や水泳の辻森魁斗選手など、世界に挑む選手を支え、兵庫から世界へ羽ばたくアスリートを育成

・支援選手数：64人（R8実績）





〔スポーツ協会実施　R8予算12,440千円〕

（4）国民スポーツ大会への選手派遣

令和８年10月に開催された第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」に、兵庫県選手団を派遣。青森県全域を舞台に、陸上競技や水泳、バスケットボールなど37競技が行われ、全国の代表選手が熱戦を展開

・兵庫県選手団派遣人数（選手・監督・役員）：461人（R8本大会実績）

＜令和８年度国民スポーツ大会選手派遣＞

大会名	競技数	開催場所	場所
近畿ブロック大会	30競技	R8.6.18～8.30	滋賀県
青の煌めきあおもり国スポ	37競技	(会期前Ⅰ)R8.9.3～9.13 (会期前Ⅱ)R8.10.2～10.9 (本会期) R8.10.10～10.20	青森県
第81回国民スポーツ大会ブロック予選会	1競技	R8.11.28～11.29 R8.12.5～12.6	滋賀県
第81回国民スポーツ大会冬季大会	2競技	R9.1.31～2.4	山梨県等
	1競技	R9.2.18～2.21	岩手県



〔スポーツ協会実施　R8予算73,201千円〕

（5）スポーツ大会の招致

のじぎく兵庫国体（H18）を契機に創設した「はばタンスポーツ基金」を活用して、全国規模の競技大会の開催に要する費用の一部を補助することにより、大会を招致し、県内選手の競技力を向上

＜令和８年度スポーツ大会招致実績＞

No.	開催期間	開催場所	大会名
1	R8.6.27～29	三木総合防災公園	JFA第25回全日本O-50(ｵｰﾊﾞｰ50)ｻｯｶｰ大会
2	R8.10.9～11	新西宮ヨットハーバー	2026年度全日本学生ヨット個人選手権大会 2026年度全日本学生シングルハンドレガッタ
3	R8.10.24～25	アクリエひめじ	第５回日本グランプリパワーリフティング選手権大会
4	R8.12.11～13	神戸六甲ボウル	第38回オールジャパンレディスボウリングトーナメントwith MEN
5	R8.1.15～17	グリーンアリーナ神戸	全農杯2027年全日本卓球選手権大会（ジュニアの部）
6	R9.3.19～22	姫路市香寺野球場他	第45回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会

〔県実施　R8予算7,000千円〕

（6）スポーツ賞特別賞・優秀賞による表彰

国際大会及び全国大会で優秀な成績を収めた兵庫県ゆかりのスポーツ選手にスポーツ賞特別賞・優秀賞を授与。２月に表彰式を開催

・特別賞受賞者数：5人（R7実績）
・優秀賞受賞者数：520人（R7実績）

＜令和７年特別賞受賞者＞

No.	氏　名	競　技　成　績
1	阿部　詩	世界柔道選手権大会2025 女子52kg級　優勝
2	村尾　三四郎	世界柔道選手権大会2025 男子90kg級　優勝
3	三浦　璃来	世界フィギュアスケート選手権2025 ペア　優勝
4	上原　瑠果	FISUワールドユニバーシティゲームズ アーチェリー競技 リカーブ女子団体 優勝
5	太田　歩	第25回夏季デフリンピック競技大会 バドミントン　混合団体戦　優勝



県立文化体育館での表彰式

〔県実施　R8予算3,237千円〕

3　スポーツ環境の整備

（1）スポーツ施設の管理運営

令和６年度に教育委員会からの移管を受け、スポーツ振興課が６施設を所管。指定管理者制度のもとで運営の効率化とサービスの向上を図り、県民の健康で文化的な生活を支える開かれた施設づくりを推進　※①開館年月、②所在地、③利用者数（R7実績）、④指定管理期間、⑤指定管理者、⑥指定管理料（R8予算）

Life partner Arena（総合体育館）



県内最大級の屋内スポーツ拠点。全国大会や合宿、イベントに幅広く活用され、地域スポーツの中核として多世代に親しまれる施設
①S60.8　②西宮市　③483,196人
④R7.4.1～R12.3.31　⑤ひょうごスポーツライフグループ
⑥94,500千円　（代表:国際ライフパートナー(株)）

海洋体育館



海辺に立地し、ヨット・SUPなどの体験を通して海洋スポーツの魅力と学びを発信する拠点
①S59.4　②芦屋市　③45,290人
④R7.4.1～R12.3.31　⑤(公財)兵庫県スポーツ協会
⑥35,277千円

文化体育館



多目的ホール、プール等を完備。バスケットボールやバレーボールなどの公式戦に加え、地域イベントの拠点として親しまれる施設
①S60.6　②神戸市長田区　③527,293人
④R8.4.1～R13.3.31　⑤ひょうごスポーツYELLグループ
⑥156,228千円　（代表:コナミスポーツ(株)）

神戸西テニスコート



砂入り人工芝７面を備えたテニス施設。大会・教室を通じて世代を超えた交流を生むスポーツ拠点
①H9.4　②神戸市西区　③64,510人
④R8.4.1～R13.3.31　⑤(株)ITC
⑥▲4,957千円（還付金）

弓道場



全国大会開催実績を有する本格弓道場。競技者の練習や学生指導に活用され、伝統文化と礼節の継承に貢献
①S63.3　②明石市　③29,170人
④R8.4.1～R9.3.31　⑤(公財)兵庫県スポーツ協会
⑥9,066千円

武道館



柔道・剣道など各種武道大会を開催。青少年の心身育成と競技力向上を支える、県内を代表する武道拠点
①H14. 5　②姫路市　③541,681人
④R8.4.1～R13.3.31　⑤ひょうごスポーツYELLグループ
⑥146,232千円　（代表:コナミスポーツ(株)）

4　スポーツコミッションの創設・展開

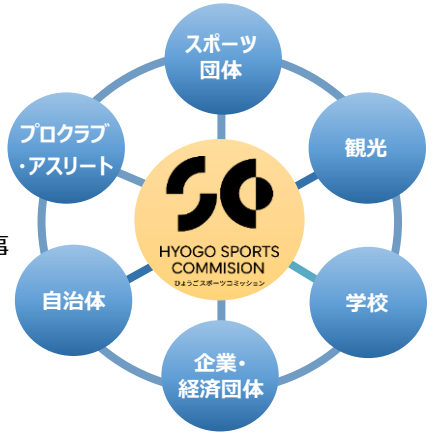
ひょうごスポーツコミッションの設立

兵庫県全体でスポーツの力を通じて地域に賑わいと誇りを創出し、地域活性化につなげる共創のハブとなることを目的とする

【概 要】

名　　称　：　ひょうごスポーツコミッション
設 立 日　：　令和８年４月１日
性　　格　：　公民連携による任意団体（法人格なし）
構成団体　：　県、県スポーツ協会、市長会
町村会、商工会議所連合会
商工会連合会、ひょうご観光本部
役　　員　：　スポーツコミッショナー＝兵庫県知事
会長＝兵庫県県民生活部長
事 務 局　：　スポーツ振興課

【連携・共創のイメージ】



【主な取組】

① スポーツの裾野拡大
② 人材育成・キャリア支援
③ スポーツツーリズムの推進・大会誘致
④ 地域・企業共創・デジタル展開

【HYOGO ATHLETE PARTNERS】

コミッションの趣旨に賛同いただき、ともに事業を進める県ゆかりのアスリートやクラブ等

・アスリート：朝原宣治氏、沢松奈生子氏
・クラブ　　：ASハリマアルビオン、FC BASARA HYOGO、INAC神戸レオネッサ、SEKISUIチャレンジャーズ、アストライア、ヴィクトリーナ姫路、ヴィッセル神戸、神戸ストークス、神戸ファストジャイロ、コベルコ神戸スティーラーズ、スターズ神戸、阪神タイガース

（1）スポーツの裾野拡大

子どもたちが運動・スポーツを好きになる機会の創出など、誰もが気軽にスポーツに参画できる機会の充実

<プレミアムスポーツサマー>

夏休みを中心とした７～９月の期間を活用して、「子どもたちのスポーツ体験の夏」にするべく、「プレミアムスポーツサマー」と名付け、スポーツ体験の機運を盛り上げるとともに、自分に合ったスポーツ体験イベントに参加できるような環境を整備

①HP等での情報発信＜153イベント掲載＞

夏休み期間を中心に県内各地で開催されるスポーツ体験イベントをHPで集約し情報発信





特設ホームページでの情報発信の例（明石市ビーチフェスタ）

②マルチスポーツ体験イベント＜延べ307名参加＞

ヴィッセル神戸等のHYOGO ATHLETE PARTNERS等と連携し複数スポーツを一度に体験できるイベントを県内3カ所（神戸、姫路、豊岡）で実施





マルチスポーツ体験（ヴィッセル神戸・7/30豊岡、コベルコ神戸スティーラーズ・8/7神戸）

〔県、スポーツ協会共同実施　R8予算6,000千円　〕

4　スポーツコミッションの創設・展開

（2）人材育成・キャリア支援

競技技術の共有などによる現場の指導力向上や、アスリートの競技活動とキャリアの両立支援等を通じて、スポーツ関連の人材育成やキャリア形成を推進

- **兵庫ゆかりのアスリート等指導者派遣事業（再掲）**
- **HYOGO STAR PROJECT（再掲）**
- **キャリアフォーラム（仮称）の実施**
  アスリートの競技活動とキャリア形成の両立に向け、企業関係者と選手・指導者の相互理解を深めるフォーラムを実施

（3）スポーツツーリズムの推進・大会誘致

プロクラブとの連携や兵庫の多様な自然・文化・都市資源を活かし、スポーツを通じた地域活性化を推進

〇プロクラブの選手等との交流ツアー

プロクラブの魅力による県内への誘客促進とプロクラブの観客拡大に向け、県内外の小中学生と保護者を対象に実施し、小学生、保護者20名が参加





昨年度実施した交流ツアー（ASハリマアルビオン、アストライア、㈱アース製薬）

〇プロスポーツクラブとの連携による観戦無料招待等の実施

観戦招待や応援デー、大学・企業・地域と連携した取組を展開し、子どもたちが一流アスリートの技や精神に触れる機会を創出

R7年度実績：29,105人



ヴィッセル神戸



神戸ストークス

〔県実施　R8予算48,000千円〕

（4）地域・企業共創、デジタル展開

スポーツを起点に企業・行政・大学との連携を推進するとともに、デジタル技術を活用して県民とのつながりを深め、共創の輪を拡大

〇ひょうごスポーツコミッション「キックオフミーティング」（令和８年5月25日）

コミッションがハブとなり、兵庫県内の市町のスポーツ所管部局とHYOGO ATHLETE PARTNERSに参画するスポーツクラブが一堂に会し意見交換・交流会を実施

スポーツクラブ側はホームタウン以外での活動や認知の拡大、市町側からは、スポーツクラブと連携した事業等の実施といったニーズがあり、ミーティングを開催

このミーティングを契機に新たに市町とプロクラブのイベントの開催が実現



キックオフミーティングに参加したプロクラブ

〇企業と連携したスポーツイベント（令和８年8月24日）

コミッションと三井住友銀行が連携し、こどもたちを対象にスポーツ体験と銀行見学を組み合わせたイベントを実施し、小学生16名が参加

三井住友銀行のスポーツを通じた社会貢献の一環で、同行のアドバイザー・寺田明日香さんが講師を務めるスポーツ教室を開催





5　神戸マラソン2026



（1）大会の概要

開催日：令和８年11月15日（日）
　　9:00 第1ウェーブ／9:15 第2ウェーブスタート／16:00終了
定員：フルマラソン 20,000人、リレーラン 150組（300人）
主催：兵庫県・神戸市・一般社団法人兵庫陸上競技協会
企画運営：神戸マラソン実行委員会

〔神戸マラソン2026の開催　R8予算88,883千円〕

5　神戸マラソン2026

感謝と友情
Thanks & Friendship

被災から復興、そして現在にいたるまで、
手を差し伸べていただいた国内外の人々や地域へ感謝の気持ちを現したい。

（2）震災を風化させない、語り継ぐ大会へ

神戸マラソンは、第１回大会から続く大会テーマである「感謝と友情」を掲げ、震災からの復興の軌跡を世界に発信し、支えてくださった方々への感謝を現す大会として開催

記憶を風化させることなく、語り継ぐ大会をめざす



大会に参加する人たちが、震災復興の象徴「ひまわり」をイメージした黄色の手袋を着用し、手を掲げるセレモニーを実施

（3）景色美しく、フラットなコース

明石市大蔵海岸で折り返し、神戸ハーバーランドでフィニッシュするコースで実施。明石海峡大橋や淡路島、神戸ポートタワーなどの眺望を活かした魅力あるコース

WAラベルレース・MGCシリーズとして、国内外の有力ランナーを招聘

自己記録の更新を狙うランナー、完走を目指す初心者ランナーそれぞれとって、魅力あるコースレイアウト



明石市大蔵海岸で折り返すコース。明石海峡大橋と淡路島を望む絶景ポイントがランナーの気持ちを高める



神戸を象徴する景観と、商業施設が立ち並び多くの人で賑わう神戸ハーバーランドで、フィニッシュを迎える

（4）応募者数増、過去最高の海外ランナー

フルマラソン応募者数：58,340人（前年比＋9,198人／約2.9倍）

リレーラン応募者数：583組（1,166人／約3.9倍）

海外エントリー：3,511人（前年比＋919人／過去最高）

6　ワールドマスターズゲームズ2027関西

（1）生涯スポーツの国際大会

WORLD MASTERS GAMES
2027 KANSAI / JAPAN

世界最大級の国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ」が令和９年に日本で初めて開催

1985年の第1回トロント大会以来、4年ごとに開催されてきた国際総合競技大会であり、概ね30歳以上であれば誰でも参加可能

二度の延期を経て、いよいよ生涯スポーツの祭典が関西一円で開幕

〔名　称〕ワールドマスターズゲームズ2027関西
〔期　間〕令和９年5月14日(金)～30日(日)
※ビーチバレーは、5/9(日)～5/14(金)に競技開催
〔主　催〕（公財）ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会 等
〔競技数〕公式競技 35競技・59種目
〔構成自治体〕13府県政令市
〔目標参加者数〕50,000人
〔競技登録者数〕約36,200人(10/15現在)

（2）兵庫で大会最多12種目を開催

兵庫県実行委員会では、地元市町・競技団体との連携のもと、公式競技８種目（オリエンテーリング（フォレスト／スプリント）、競泳、水球、テコンドー、テニス、ビーチバレー、クレー射撃）を実施

また、オープン競技としてノルディックウォーキング、ペタンクなど７種目を実施

さらに、神戸市実行委員会において、公式競技４種目（競歩、硬式野球、卓球、バスケットボール）、オープン競技２種目を実施

県内各地で、国境や年齢、競技レベルを超えたスポーツを通じた多彩な交流が展開



6　ワールドマスターズゲームズ2027関西

（3）大会に向けた万全の準備

今年度、兵庫県ではスポーツ振興課にワールドマスターズゲームズ推進室を設置し、大会推進体制を強化

大会まで残り６か月余り。関西組織委員会、関係市町、競技団体などの多様な主体と一丸となって、競技運営体制の整備、ボランティアの募集・育成、大会の認知度向上・機運醸成など、大会準備を本格化

また、大会参加者等の県内周遊促進を図るため、大会専用観光特集ページを参加者に直接発信するなど、タビマエ・タビナカ・タビアトで効果的な情報発信を行い、スポーツツーリズムを推進



大会本番を見据えたリハーサル大会を競技ごとに開催し、運営手法の確認や改善を実施



計15会場で受付等の運営補助を行うボランティアのべ約4,000名を募集
研修を行い、兵庫の顔として大会参加者をおもてなし

〔今後の主なスケジュール〕

令和８年11月迄	ボランティア募集
令和９年２月迄	リハーサル大会の開催（順次）
２月末	競技エントリー受付締切
５月迄	ボランティア研修、ドロー調整等運営準備
5月14日	**ワールドマスターズゲームズ2027関西 開幕**



「神戸まつり」パレード(5/17)のほか、各種催事やスポーツ体験会、競技会の開催・参加により、機運醸成と認知度向上を推進



有名スポーツ選手の協力等によるSNS配信や県版HP、パンフレット等で機運醸成と更なる大会参加を促進



〔WMG2027関西の開催準備　R8予算64,139千円〕